

STORY

Turning Point

SAIBO

とき 時代と地域と共に歩む

紡績会社として川口市に誕生した老舗企業が、繊維業に軸足を置きながら時流を読み、多様に事業を拡大。地元に残りたくない企業として地域に根づいている。法人向けユニフォームを始め、プロ野球のレプリカユニフォームや三菱重工浦和レッズレディースの公式スーツなどを手掛ける一方、川口市内に2つの大型ショッピングセンターや医療施設等を建設し賃貸することで、地域の人たちに「住みやすさ」を提供。「時代と地域と共に歩むサイボー」を旗印に地域貢献し、社会から支持される会社を目指している。



1984年開業の川口グリーンシティは2021年にイオンモール川口として生まれ変わった。後方のゴルフ練習場(川口グリーンゴルフ)も子会社が運営する。



インクジェット印刷でプリントした自社オリジナルキャラクターのタオルを掲げる飯塚栄一社長。スピーディーな対応が求められる時代に合わせて2022年9月に設立した「サイボークリエイト」で生産したもので、短納期で高品質のプリントが可能となる。

明治維新後、欧米列強に追いつけ、追い越せと周回遅れながら産業革命を起した日本。それを支えたひとつが紡績業だ。

サイボーの前身、埼玉紡績が設立されたのは1948(昭和23)年。その後、時代の流れで海外からの安価な原料が輸入されるようになり、各社とも業態の変更を迫られるようになった。サイボーも例外でなかったが時代の変化に対応する力があつた。

大手紡績会社としては最初に紡績業から手を引き、所有する土地や資産を有効活用して企業としての活躍の場を広げてきた。織布工場で豊田自動織機の機械を使っていた縁からトヨタ車のディーラーを始めた。また、取引していた商社の紹介で始めたポウリング事業は、最盛期には8カ所のポウリング場を展開、ブームが去ると素早くスーパーマーケットなどに転換させた。その経験から工場跡地に大型ショッピングセンターを誘致し、その周辺に高度救急医療施設と産婦人科クリニックを開設させるなど、幅広く住民の「安心で住みよい街づくり」に寄与している。

同族経営だが、歴代社長が上手に時代の転換点を讀み取り、従業員の雇用を守ると同時に、地域に役立つ企業として実績を積み重ねてきた。

飯塚栄一社長は初代社長・孝司の孫で、2021(令和3)年6月に6代目社長に就任した。自由奔放な性格で手堅く前例を踏襲するタイプとは正反対。若いころからチャレンジ精神旺盛で、多くのことに挑んできた。いくつも大型受注に成功する一方で納期クレームを出すなど、失敗経験も積んでいる。

人付き合いの良さから大手百貨店や総合商社の幹部、パレルメーカーの経営者まで多くの友人に恵まれ、人脈を広げてきた。若いころから本業の繊維を中心に手掛けてきた6代目がいま、物足りないと思っているのは「サイボーといえばこれ」という消費者に直接触れてもらう商品が少ないことだ。

「地元を知る年配の方はサイボーの前身が埼玉紡績とわかるが、今の若い人には何の会社かわからないと思う。もっとサイボーを知っていただくヒット商品を出したい」。失敗も成功も人一倍経験してきた飯塚社長のことだ。きつと地元がびびくりする看板商品を生み出すに違いない。

「地元を知る年配の方はサイボーの前身が埼玉紡績とわかるが、今の若い人には何の会社かわからないと思う。もっとサイボーを知っていただくヒット商品を出したい」。失敗も成功も人一倍経験してきた飯塚社長のことだ。きつと地元がびびくりする看板商品を生み出すに違いない。

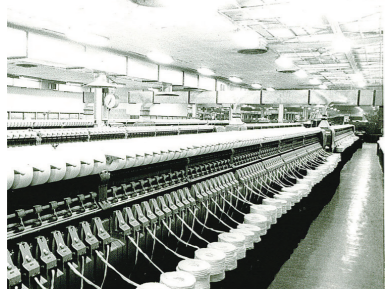
「地元を知る年配の方はサイボーの前身が埼玉紡績とわかるが、今の若い人には何の会社かわからないと思う。もっとサイボーを知っていただくヒット商品を出したい」。失敗も成功も人一倍経験してきた飯塚社長のことだ。きつと地元がびびくりする看板商品を生み出すに違いない。

「地元を知る年配の方はサイボーの前身が埼玉紡績とわかるが、今の若い人には何の会社かわからないと思う。もっとサイボーを知っていただくヒット商品を出したい」。失敗も成功も人一倍経験してきた飯塚社長のことだ。きつと地元がびびくりする看板商品を生み出すに違いない。

「地元を知る年配の方はサイボーの前身が埼玉紡績とわかるが、今の若い人には何の会社かわからないと思う。もっとサイボーを知っていただくヒット商品を出したい」。失敗も成功も人一倍経験してきた飯塚社長のことだ。きつと地元がびびくりする看板商品を生み出すに違いない。

昭和23年(1948)

埼玉紡績設立



6月、埼玉紡績株式会社設立、資本金2,000万円、初代社長・飯塚孝司。戦後の日本の産業を復興させる一翼を担い、東日本エリアでの綿紡績の供給を安定化させるため、前身である飯留織物から事業転換を図る。

昭和59年(1984)

川口グリーンシティ開業



化繊紡績工場の跡地にショッピングセンターを建設し賃貸を開始。80年代はスーパーマーケットを軸とする流通革命時代。2018年の閉店後、2021年に延床面積12万㎡と拡大し、新たな大型ショッピングセンター(最上段写真)がオープン。

平成20年(2008)

法人向けユニフォーム事業展開



百貨店や商社との取り組みで法人向けユニフォームや販促グッズの企画・製造販売を展開。今やスポーツ観戦ではレプリカユニフォームはマストアイテム。

平成27年(2015)

かわぐち心臓呼吸器病院竣工



11月、本社工場跡地に心臓や呼吸器の緊急・救命治療が行える医療施設を建設し賃貸を開始。県南地域医療の充実に貢献する。コロナ禍ではエクモ治療が行える重要な医療機関として話題に。

未来へ To the future



令和4年(2022)設立した子会社のサイボークリエイトは、最先端の技術を搭載した機械を保有する自社工場(川越市)で繊維およびアクリル加工品に各種プリントを施す新事業。用途は、スポーツ・アニメ・芸能界と多分野に広がり今後の事業展開が期待される。



▶社名 サイボー株式会社
▶代表者 代表取締役社長 飯塚 栄一
▶所在地 〈本社〉〒333-0842 川口市前川1-1-70 〈東京支店〉〒103-0013 中央区日本橋人形町1-2-6
▶事業内容 繊維製品の製造・販売、不動産賃貸